

「電力系統出力変動対応技術研究開発事業」の概要

1. 実施体制

東京電力株式会社	国立大学法人東京大学
学校法人早稲田大学	公立大学法人大阪府立大学
国立大学法人筑波大学	学校法人日本大学
国立大学法人北海道大学	一般財団法人電力中央研究所
一般財団法人エネルギー総合工学研究所	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社東光高岳	北海道電力株式会社
一般財団法人日本気象協会	NRI セキュアテクノロジーズ株式会社

2. 研究期間

平成 26 年 6 月 ~ 平成 31 年 3 月 までの 5 年間 (予定)

3. 事業概要

気象状況等を踏まえた再生可能エネルギーの「予測・把握」、風力発電設備の制御を含めた出力変動の「制御・抑制」、および発電設備や蓄電池を用いた効果的な「需給運用」の 3 つの視点を総合的に組み合わせることで、再生可能エネルギーの連系拡大を目指す。

